

# 8 ひたちなか市教育研究所

## 基本方針

地域に根ざした教育研究所として、調査研究・教職員研修・教育相談の運営に努め、社会の変化に主体的に対応できる個性豊かな人間を育成するため、次の4項目を基本方針とする。

- |   |   |                                  |  |
|---|---|----------------------------------|--|
| <p>① 本市教育の現状や目標に基づく研究課題を設定し、その課題解決に努める。研究の成果は各学校(園)に発信する。</p> | <p>② 教職員の自主的自発的な研修の場として、積極的な運営に努める。</p> | <p>③ 教職員の研修の充実を図り、資質の向上に努める。</p> | <p>④ 学校生活における諸問題を解決するため、教育相談の充実に努める。</p> |
|---|---|----------------------------------|--|



### 努力事項

#### <研究推進部>

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| 1 学校教育の今日的課題の解決に向けての内容の充実                        | 《調査研究》                        |
| 2 学校教育上の諸問題の解決と教職員の資質の向上                         | 《教職員研修》                       |
| 3 情報活用能力の育成、学級経営、生徒指導、特別支援教育に関する諸問題の解決に向けての取組の充実 | 《情報教育、学級経営、生徒指導、特別支援教育に関する研修》 |

#### <教育相談部>

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1 いじめや不登校の未然防止と解消              | 《教育相談》          |
| 2 社会への自立と適応力の育成、学校生活への復帰支援     | 《教育支援センター》      |
| 3 いじめや不登校等に対して専門的な見地からの助言      | 《いじめ・不登校相談センター》 |
| 4 教員や相談員、サポーターに対するコンサルテーションの充実 |                 |

### 研究推進部 (調査研究)

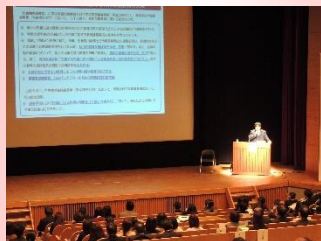
学校教育が抱えている今日的課題についての調査研究及び成果の発信

#### ◇ 専門研究員会

【2年計画の1年次】

#### ・子ども理解専門研究員会

児童生徒理解に基づく個に応じた効果的な支援の在り方についての手法や、アセスメントに基づくチーム支援について調査・研究する。



### 研究推進部 (教職員研修)

学校教育上の諸問題の解決と教職員の資質向上等

#### ◇ 基本研修

- ・カリキュラムマネジメント研修
- ・ICT活用指導力向上研修(中級)
- ・若手(2年・3年)教員研修

#### ◇ 希望研修

- ・プログラミング教育研修
- ・論文作成研修
- ・指導力向上研修
- ・教育相談研修

#### ◇ 共催研修

- ・特別教育に関する研修
- ・社会科巡検
- ・外国語研修

#### ◇ 各種アドバイザー(情報教育、学級経営、生徒指導、特別支援教育)の活用

- ・ICT機器活用支援
- ・学級づくりについての支援
- ・生徒指導における課題解決への支援
- ・特別支援教育への支援

### 教育相談部 (教育相談)

教育相談の充実による課題解決と問題の未然防止及び教育支援センターの運営

#### ◇ 電話・来所・訪問・メールでの相談(教育相談員6名)

- ・幼児・児童生徒の教育上の諸問題についての相談
- ・月～金 9:00～17:30 (R5.7.1より9:00～17:15)
- 土 9:00～12:00

#### ◇ いじめ・不登校相談センター(臨床心理士2名)

- ・来所による相談(要予約)

#### ◇ 関係機関との連携

- ・みんなのみらい支援室、子ども未来課等

#### ◇ 教育支援センター

「いちよう広場」の運営

- ・居場所づくりと社会的自立を促す支援
- ・体験的活動の計画と実施

#### ◇ 心の教室相談員、心のサポーター、絆サポーターによる不登校児童生徒への支援